

事業所名

療育サポートセンターセンター KOTOIRO宗像
(放課後等デイサービス)

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7年

2月

1日

法人(事業所)理念	『心が動いて身体も動く』子どもの成長・発達にとって「楽しい」や「やってみたい!」と思える経験は、とても大切な栄養素になります。楽しいからやってみたい!と心が動くとも自然と身体も動きます。子どものわくわくする心を大切に療育を行います。					
支援方針	『K0:子どもに個別に向き合う支援を TOIRO:十人十色に適切で多種多様な専門支援を』 医療的ケアの必要な児、肢体不自由を持つ児、発達につまづきを持つ児など十色な子どもたちへの支援として、専門職の専門的支援・複数の専門職がチームでサポートします。 0歳から18歳まで一貫した支援をするために個別療育と集団療育と地域連携を大切に、子どもを中心に関わる『保護者・先生・療育スタッフ』が共育ちで共に成長しながら、子どもの成長を促していきます。					
営業時間	8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり (なし)
支援内容						
本人支援	健康・生活	健康状態、生活リズム、睡眠リズムを整えることや衣食住への指導及び環境調整や介助方法等を年齢やライフステージに合わせて促していきます。また、自分で気づけるように、管理できるように促していきます。				
	運動・感覚	運動面・感覚面の検査を用いた評価に基づき、個々の特性を明確にし、それぞれの環境調整をし、安心した環境で遂行できるように促します。また、生活動作や姿勢保持する力、巧緻動作など学校生活に必要な運動機能獲得と応用動作の獲得を促します。				
	認知・行動	知能検査、視覚認知検査を用いた評価に基づき、個々の学びやすさを見つけ学習効率を上げ積み重ね学習できるように支援していきます。今持つ能力を最大限活用できる環境や工程を検討し行動適応できるように経験を促します。				
	言語コミュニケーション	言語の「理解」「表出」の基礎能力の向上を図ります。また、発語を促しながら、カード交換式の伝える手段の獲得やサインでの表出手段の獲得も促し、人とやり取りする経験を促していきます。他者に気持ちを伝える経験を促します。				
	人間関係社会性	社会技能トレーニングや気持ちのコントロールできるスキルの獲得をうながします。不安なときの受け止め方、発散の仕方など自己調整できる方法の獲得を促していきます。小集団療育では、他者を意識する⇒他者と場所や物を共有する⇒他者と気持ちを共有する⇒他者と協力する⇒集団の中で役割を遂行するための支援を促していきます。				
家族支援	子どもの心の成長に合わせた家庭での支援の仕方をアドバイスします。認知面・学習面の向上を促す家庭での支援方法についてアドバイスします。こどもの行動課題に対する関わり方をアドバイスします。各月保護者会を実施し、保護者勉強会や交流会を実施。家族支援として兄弟児の相談・アドバイス行います。			移行支援	学校や学童など子どもが過ごす施設と連携しながら成長を促していきます。保育所訪問支援事業利用児には、基本月2回を移設等に訪問し、療育での様子や情報提供と学校・学童での生活に適応しやすい環境設定や本人が理解しやすい提示方法など伝達し、過ごしやすい環境作りのアドバイスを行います。	
地域支援・地域連携	医療機関・行政(福祉課・教育課・子ども家庭課など)・他療育施設・相談支援とその都度連携を図ります。現在、宗像市学校看護師配置事業委託、志免町乳幼児健診相談事業委託、新宮町運動発達相談事業委託、を請け負っています。			職員の質の向上	自己研鑽応援支援制度として、研修費一部補助。週一回研修日及び、年5～6回午後より研修実施。	
主な行事等	年に5～6回土曜日特別開所にて親子療育実施。例:プラネタリウム、染め布でのトートバック作り、先輩保護者の会、運動療育、ミカン狩り、映画鑑賞など					